

# 佐賀市 25 歴史探訪

## こう でん じ だい ね ほん ぞう 高伝寺の大涅槃像

高伝寺は、鍋島直茂の父、清房なおいげ きよふさにより天文21(1552)年建立された曹洞宗寺院で、山号を恵日山えにちやまといいます。それ以来、佐賀鍋島家の菩提寺として今日まで続いている由緒あるお寺です。

境内は、約33,000㎡の広さで、本堂西側の墓所には歴代藩主や龍造寺氏の墓石が林立し、一大景観をなしているとともに、同寺は、重要な歴史遺産や県指定・市指定の文化財を多数保管されている所でもあります。

今回は、佐賀市指定文化財「大涅槃像」を中心に紹介します。

大涅槃像は、京都東福寺にある兆殿司筆涅槃図を模写したもので、宝永3(1706)年に完成したものとされています。これは、紙本彩色で、描表装を含めると縦15.2m、横6mの巨大な画幅です。写真1にあるように、高伝寺で公開される際には、その大きさのため、一部は本堂畳上に広げざるをえません。

この大涅槃像が、佐賀県立博物館による全体写真撮影のため、県立総合体育館で写真2のように広げられたことがあります。壁際につるしての写真撮影も検討されたとのことですが、画幅の重量を考えますと、その保存に好ましくないとのことで、床に展開し、直上からの写真撮影が行われました。

高伝寺では、毎年4月19、20日に「釈迦堂御開扉しゃかどうごかいひ」が行われ、釈迦堂や大涅槃像の公開が行われます。

高伝寺の歴史遺産を実見し、佐賀の歴史・文化の奥深さを感じてみませんか。



1. 佐賀市重要文化財 大涅槃像



2. 平成7年に県立総合体育館で行われた写真撮影



3. 佐賀県重要文化財 高伝寺釈迦

### 一口メモ

- ・大涅槃像の詳細や写真撮影のことは「葉隠研究第45号(葉隠研究会発行)」に詳しく紹介されていますので、ご一読ください。佐賀市立図書館にあります。
- ・平成20・21年度には、九州国立博物館で大掛かりな修復が行われました。



### 高伝寺にある佐賀市指定の文化財



高伝寺墓所



高伝寺の梅



御位牌所



鍋島忠直坐像